

最終結果報告書

令和7年9月5日

株式会社タイタン
代表取締役 太田光代

弁護士法人橋下綜合法律事務所
弁護士 松隈貴史

平素より、当社所属タレントならびに当社の活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本日は、報道や一部の情報に関して皆様にご心配をおかけしております件につき、これまでの経緯と今後の対応についてご報告申し上げます。

1 当社による調査

オンラインカジノに関する報道等を受け、当社でも本年2月（聴取漏れの為、3月にも実施）に所属タレント及び従業員（関係者を含む）合計108名を対象に弁護士による調査を行いましたところ、以下のとおりの結果となりました。

（1）違法性の認識について

調査対象者108名のうち、102名は「オンラインカジノや賭博行為は違法である」と認識していました。

一方で6名は「オンラインカジノが違法であるとは思わなかった」と回答しており、違法であることの理解が不十分な者も一定数存在しました。

（2）利用経験について

調査対象者108名の内、実際にオンラインカジノを利用した経験（可能性）がある者は4名いることが判明しました（各4名の詳細については別紙に記載）。

2 該当者4名の対応

オンラインカジノの利用が発覚した4名については、協議を重ね、弁護士と共に警察へ自主的に出頭（※刑法第42条第1項の「自首」にあたります）することを決めました。

一部報道にもございましたが、警察による取調べの結果、2名は書類送検に至りましたが、いずれも不起訴処分となり、残る2名については書類送検までにも至らず、何らの処分も受けておりません。

※刑法第42条（自首）

- 1 罪を犯した者が捜査機関に発覚する前に自首したときは、その刑を減軽することができる。

3 皆様への注意喚起

オンラインカジノについては、運営元が賭博行為を合法としている国の事業者であったとしても、日本国内においてスマートフォンやPCなどを利用して行えば違法とされ、賭博罪が成立する可能性があります。そこでは「違法であるとは思っていなかった」という言い訳は通用しません。

オンラインカジノを利用したことで検挙されている方というのはまだまだ氷山の一角と言われています。したがって、オンラインカジノを利用したことがある方の中には、捜査機関によって突然逮捕されたりするのではないかという不安を抱えたまま、今後どうすれば良いのか悩んでおられる方も一定数いらっしゃるかもしれません。

そのような場合には、一度、法律の専門家である弁護士にご相談されることを強くお勧めいたします。弁護士に対する法律相談は役所等でも定期的に行われており、誰でも容易に利用することができますので、一人で悩まれるより精神的な御負担はずっと軽くなると思います。

法テラスのサイト https://www.houterasu.or.jp/
--

なお、上記4名の自首は、あくまでも当社の独自調査の結果を受けて、本人たちの自主的な意思・判断によって行われたものです。したがって、一部で流布されている「捜査機関によってオンラインカジノの利用の嫌疑を既にかけており、やむなく自首に至った」という話は完全に事実と異なっておりますので、その点は誤解のないようお願いいたします（上記調査を行う以前に、当社が捜査機関から何か捜査を受けたということは一切ありません）。

4 再発防止策

当社は、今回の件を重く受け止め、当社の従業員及びタレント全員に対して法令遵守研修を実施しました。さらに該当者4名については、個別での徹底指導を行いました。今後も継続的にコンプライアンス教育を徹底し、再発防止に努めていく所存です。

5 今後の対応

この度の件により、多くの皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。

該当者4名につきましては、この度のことを真摯に反省し、二度と同じような過ちを繰り返さないこと、また、これからは本業に専念することで少しでもご迷惑をお掛けした皆様の信頼回復に努めたいと固く誓っております。

当社としても責任ある企業として、皆様の信頼回復に誠心誠意努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

該当者 A から聴取した事項

1. オンラインカジノに関わった時期ときっかけ

2019 年 8 月頃～10 月

先輩と飲んでいるときに「面白い。違法ではない。」と誘われ、付き合いのつもりで、その日からやってみた。3 カ月程度。

2. 利用したサイト・アプリ・関わり方

(1) サイト

スマホ（※）のアプリかブラウザであった。

もう消してしまったため、どのようなアプリ・サイトであったかは分からない。

スポーツの結果に賭けるものであり、それに送金するためのサイトもあった。

※今使っているスマホとは別のもの

世界のスポーツ（メジャーなものからマイナースポーツまで）の勝敗や、例えば「最後の 30 分で点が入るか」といった試合経過を対象とするものであった。

100 円単位から賭けられ、賭けると試合の映像を見られるものもあった。

興味本位で、海外サッカーの 3 部リーグのようなマイナーな試合を見る目的で賭けたこともある。

対象はスポーツのみであり、アダルト系・犯罪系はない。

日本のプロ野球にも賭けられるので、おかしいとは思った。

(2) 投入した金額

自分で 1 回に賭けたのは 500 円くらいが最高。

海外サイトで指示される口座へ、銀行 ATM を通じて現金で送金した。

トータル 1 万円も使っていない。数千円を 2、3 回くらい。

(3) 一緒に関わった人物の有無

他の人には勧めておらず、他の人とも一緒にやったことはない。

3. オンラインカジノに対する認識

2019 年 10 月以降一切やっていない。

やめた特別な経緯はない。飽きてしまったのか、いつの間にかやめていた。

当時は、先輩の話もあり、合法だと思っていた。

「海外のサイトに金を送って海外でやるものだから」と聞かされていた。

最近オンラインカジノが話題となり、「あれもそうだったのかも」という感覚。

今は、違法であることをしっかりと理解しており、やりたいとも全く思わない。

芸人がオンラインカジノを利用していたとの報道を受けて、自分もしっかりと説明しておこうと思った。

安易な行動に深く反省している。

該当者 B から聴取した事項

1. オンラインカジノに関わった時期ときっかけ

2022 年 6 月 19 日開催の「那須川天心 対 武尊」の広告に含まれており興味をもった。
この試合以外に、同種のものに手を出したことはない。

2. 関わったサイト・アプリ・関わり方

(1) スポーツベット（ビーベット）

格闘技に特段の興味はなく、たまたま目に入ったものだが「そういうものがあるのか」という程度の認識でアカウントを登録しようとした。

(2) 「登録しようとした」と説明がなっているのは、その後実際に登録が完了したのか、面倒になって途中でやめてしまったのかの記憶が曖昧なため。

サイトから、アカウント登録用の URL が記されたメールが届いたことは何となく覚えていたため、「メールアドレスの入力」までは進んだのかもしれない。

しかし、それ以上手続を進めたかどうかの記憶がない。

そのようなメールの通知も、以後来ないように設定したのだと思う（そのため、もちろん最近も一切そのような通知は来っていない。）。

(3) 明確な記憶がないため、同年 5～6 月の銀行口座通帳を取り寄せたが、上記時期に、オンラインカジノの出入金と推察される出入金は見受けられなかった。この口座（三菱 UFJ）がメインバンクであり、給与・家賃・クレジットカード・生活費・日用品の買物等の通販において使用している。「友人に貸していた金の返金」や「シェアハウスの負担金」も出入金もあるが、いずれも実名での説明が可能である。

銀行や ATMなどで送金をした記憶もない（元々キャッシュレス生活である）。

クレジットカードの取引履歴はまだ用意していないが、調べられても全く構わない。

(4) ギャンブルに強い興味があるわけではなく、時折競馬の大きなレースの馬券を買う程度。その場合は JRA のネット馬券購入（即 PAT）を使う（アカウントに入金しても、実際に馬券を購入しなければ、都度返金されるシステムであるため、履歴によっていくら使ったかが分かる。例えば、1 万円を入金し、3,000 円しか使わなければ、7,000 円が返金される。その程度の出入金の記録は、通帳にも残っている。）。

3. オンラインカジノに関する認識

上記サイトは日本語で表示され、スポーツを対象としていたことから、「toto」のようなものだと思っていた。

オンラインカジノとは、スロットとかバカラのようなものだと考えていたため、上記サイトがオンラインカジノだという認識はなかった。

今は、違法であることを理解している。やりたいとも全く思わない。

該当者 C から聴取した事項

1. オンラインカジノに関わった時期ときっかけ

はっきりとは覚えていないが 2020 年か 2019 年に始めたと思う。

Youtuber がオンラインカジノをリアルタイムで配信していて、自分もやってみようと思った。

最後にやったのは、2024 年の年末くらい。世間で話題になったので、退会した。

全くやらない時期もあったが 2、3 か月に 1 回くらいのペースでやっていたと思う。

2. 関わったサイト・アプリ・関わり方

(1) サイト

①ロイヤルパンダ

最初に始めたサイト 特に理由はないが、何となくそれを使ってみた。

初回無料のような記載があったと思う。

クレジットカードを登録してベットする。

②カジノミー

ロイヤルパンダが終わったので、探していて何となく見つけたもの。

ギャンブル内容は基本ロイヤルパンダと同じ。

初回無料でいくらかもらえる、というサービスがあったかもしれない。

出金したこともあるが、最後は 2 年前くらい。

(2) 投入した金額

毎回 20～30 ドルくらい。

やるときは暇な時くらい。

お金を借りてやるということはなかった。

トータルでは赤字。

(3) 一緒に関わった人物の有無

誰かと一緒にやったことはない。

バイト先の後輩とカジノについて話したことはあるが一緒にやったことはない。

一緒にカジノを行った知り合いはいない。

3. オンラインカジノに関する認識

不勉強で申し訳ないが、やっても問題ないと思っていた。

ある有識者が「白寄りのグレー」という説明を Abema で言っていたような記憶がある。

2 年前くらい、ある youtuber がオンラインカジノのライブ配信を行っていたが、逮捕された。それを見てあっせんが良くないのだと思っていた。

安易に問題ないと考えてしまい、多くの方に迷惑をかけてしまったことを深く反省している。今後二度とやるつもりもなく、特にやりたいとも思わないので中毒症状もないと思う。

該当者 D から聴取した事項

1. オンラインカジノに関わった時期ときっかけ

2022 年春から夏にかけて登録した。きっかけは DAZN のオンラインカジノの CM。
トトの延長のような感覚でスポーツベット（試合の勝ち負けに賭ける）をやった。

2. 関わったサイト・アプリ・関わり方

(1) サイト

①スポーツベットアイオー

最初に登録したサイト。

ある騎手がやっていたと思う。

②エルドア

登録はしたが、ほとんどやらず。2022 年の W 杯期間に宣伝されていた。

③b e e b e t

一番利用頻度が高かった。

著名な格闘家の選手が広告に出ており、著名な団体もスポンサーについていた。

④遊雅堂

参加ボーナスがあるときは、利用する程度。

⑤T E D B e t

X か Youtube 上で競馬の元騎手が宣伝をしていたと記憶している。

(2) 投入した金額

1 万円を複数回。

トータルでは完全に赤字。

(3) 一緒に関わった人物の有無

誰かに誘われてやったということはない。

3. オンラインカジノに関する認識

著名人が CM に出ており、当時は悪いことだという認識は全くなかった。グレーという認識すらなく、完全に白だと思っていた。

あまり深く考えずにこの様なことをしてしまい、申し訳ないの一言。

二度とやらないし、やってはいけないと今はしっかりと分かっている。